



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 三菱倉庫株式会社
 コード番号 9301 URL <http://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤倉 正夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 稲毛 尚之
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3278-6611

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	170,655	1.0	9,918	△2.8	14,104	1.0	10,242	16.9
2019年3月期第3四半期	169,011	5.6	10,205	0.9	13,961	3.9	8,763	△5.0

(注) 包括利益 : 2020年3月期第3四半期 10,315百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 533百万円(△97.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	118.49	—
2019年3月期第3四半期	100.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	486,452	299,153	60.9
2019年3月期	482,575	299,104	61.4

(参考) 自己資本 : 2020年3月期第3四半期 296,104百万円 2019年3月期 296,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	30.00	45.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	232,000	2.1	11,700	△7.6	15,900	△8.3	12,500	8.1	144.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	87,960,739株	2019年3月期	87,960,739株
2020年3月期3Q	2,052,272株	2019年3月期	368,700株
2020年3月期3Q	86,445,907株	2019年3月期3Q	87,592,744株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出が引き続き弱含んでいるものの、雇用情勢が改善し、個人消費が持ち直すなど、景気は緩やかに回復しました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、輸出貨物の減少や競争の激化、人手不足等を背景としたコストの増加により引き続き厳しい状況のうちに推移し、他方不動産業界においては、賃貸オフィスビルの需給改善により一部に賃料の上昇がみられるなど比較的堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、積極的な営業活動を推進し、物流事業では、医薬品等の配送センター業務の拡大、海外拠点の拡充等に努め、不動産事業では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めました。他方、コスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

この結果、営業収益は、物流事業で、倉庫、陸上運送及び港湾運送の各事業において貨物取扱量の増加等により収入が増加した一方、国際運送取扱事業において貨物取扱量の減少や為替円高の影響により収入が減少したものの、不動産事業で、不動産賃貸事業においてテナントの異動等により収入が減少した一方、マンション販売事業における販売物件の増加等により収入が増加したため、全体として前年同期比16億4千4百万円（1.0%）増の1,706億5千5百万円となりました。また営業原価は、物流事業で作業運送委託費が減少したものの、不動産事業でマンション販売物件の増加に伴い不動産販売原価等が増加したため、全体として前年同期比20億8千9百万円（1.4%）増の1,528億9千6百万円となり、販売費及び一般管理費は、人件費の減少等により、同1億5千8百万円（2.0%）減の78億3千9百万円となりました。

このため、営業利益は、物流事業で増益、不動産事業で減益、全体として前年同期比2億8千6百万円（2.8%）減の99億1千8百万円となったものの、経常利益は、社債発行に係る一時費用負担があった一方、為替差損益の改善により、同1億4千2百万円（1.0%）増の141億4百万円となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の増加等により、前年同期比14億7千9百万円（16.9%）増の102億4千2百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 倉庫・港湾運送等の物流事業

倉庫・陸上運送の両事業は、食品・飲料、医薬品、自動車部品等の取扱増加により、営業収益は倉庫事業で前年同期比2.6%増の423億1千3百万円、陸上運送事業で同0.7%増の396億7千9百万円となりました。また港湾運送事業は、コンテナ貨物の収入増加等により、営業収益は前年同期比0.7%増の180億1千4百万円となりましたが、国際運送取扱事業は、輸出入貨物の取扱減少や為替円高の影響により、営業収益は同6.5%減の376億2千2百万円となりました。

この結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期比4億9千8百万円（0.3%）減の1,432億4千2百万円となりました。他方営業費用は、作業運送委託費の減少等により、前年同期比5億8千万円（0.4%）減の1,371億9千万円となりました。このためセグメント利益（営業利益）は、前年同期比8千1百万円（1.4%）増の60億5千1百万円となりました。

② 不動産事業

主力の不動産賃貸事業は、テナントの異動等により、営業収益は前年同期比2.4%減の216億5千7百万円となりました。他方その他の営業収益は、マンション販売事業における販売物件の増加等により、前年同期比58.3%増の71億5千9百万円となりました。

この結果、不動産事業全体の営業収益は、前年同期比21億2百万円（7.9%）増の288億1千6百万円となりました。また営業費用は、マンション販売物件の増加に伴い不動産販売原価等が増加したほか、賃貸施設に係る修繕費の増加もあり、前年同期比25億3千9百万円（14.0%）増の207億3千8百万円となりました。このためセグメント利益（営業利益）は、前年同期比4億3千7百万円（5.1%）減の80億7千7百万円となりました。

セグメントごとの主要業務の営業収益

セグメント	営業収益(百万円)		前年同期比増減	
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	金額(百万円)	(%)
倉庫・港湾運送等の物流事業 (倉庫事業)	41,223	42,313	1,090	2.6
(陸上運送事業)	39,399	39,679	280	0.7
(港湾運送事業)	17,895	18,014	119	0.7
(国際運送取扱事業)	40,240	37,622	△2,618	△6.5
(その他)	4,981	5,612	630	12.7
計	143,740	143,242	△498	△0.3
不動産事業 (不動産賃貸事業)	22,189	21,657	△532	△2.4
(その他)	4,523	7,159	2,635	58.3
計	26,713	28,816	2,102	7.9
セグメント間取引消去	△1,443	△1,403	39	—
合計	169,011	170,655	1,644	1.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まない。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間の総資産は、設備投資に伴い「現金及び預金」が減少したものの、「建物及び構築物」、「建設仮勘定」等の有形固定資産が増加したため、前期末比38億7千7百万円増の4,864億5千2百万円となりました。

他方当第3四半期連結会計期間の負債合計は、約定返済に伴い「借入金」が減少したものの、第18回及び第19回無担保社債発行に伴い「社債」が増加したため、前期末比38億2千8百万円増の1,872億9千9百万円となりました。

また当第3四半期連結会計期間の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したものの、「自己株式」の取得に伴う減少もあり、前期末並みの2,991億5千3百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の自己資本比率は、前期末を0.5ポイント下回る60.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等により、77億6百万円の増加（前年同期は136億9千8百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入等があったものの、固定資産の取得による支出等により、135億5千5百万円の減少（前年同期は274億5千3百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入があったものの、借入金の減少、自己株式の取得による支出、配当金の支払等により、17億9千4百万円の減少（前年同期は119億4千5百万円の増加）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（4千2百万円の増加）を加えた全体で76億1百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は353億7千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は概ね期首予想（2019年4月26日発表の予想数値）に沿って進捗しているため、通期の業績予想については期首予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,337	33,918
受取手形及び営業未収金	40,603	38,572
有価証券	2,000	2,000
販売用不動産	14,332	16,893
その他	6,326	7,615
貸倒引当金	△41	△40
流動資産合計	104,558	98,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	117,254	121,508
機械装置及び運搬具（純額）	4,471	4,264
土地	89,570	89,485
建設仮勘定	2,068	5,548
その他（純額）	6,134	8,142
有形固定資産合計	219,500	228,948
無形固定資産		
借地権	7,730	7,732
のれん	630	394
その他	6,327	6,400
無形固定資産合計	14,688	14,526
投資その他の資産		
投資有価証券	134,578	135,082
長期貸付金	516	511
繰延税金資産	2,914	2,699
その他	5,856	5,769
貸倒引当金	△20	△13
投資損失引当金	△17	△31
投資その他の資産合計	143,828	144,017
固定資産合計	378,016	387,493
資産合計	482,575	486,452

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	27,396	19,957
短期借入金	26,467	20,882
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	2,717	1,247
取締役賞与引当金	50	37
その他	13,558	15,124
流動負債合計	75,189	57,249
固定負債		
社債	31,000	51,000
長期借入金	24,235	24,354
長期預り金	20,679	21,111
繰延税金負債	21,870	22,371
役員退職慰労引当金	177	135
退職給付に係る負債	10,059	9,664
その他	256	1,411
固定負債合計	108,280	130,049
負債合計	183,470	187,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,393	22,393
資本剰余金	19,564	19,571
利益剰余金	197,675	202,711
自己株式	△844	△5,847
株主資本合計	238,788	238,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,098	57,505
為替換算調整勘定	233	△155
退職給付に係る調整累計額	45	△75
その他の包括利益累計額合計	57,377	57,274
非支配株主持分	2,938	3,048
純資産合計	299,104	299,153
負債純資産合計	482,575	486,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業収益		
倉庫保管料	19,525	20,541
倉庫荷役料	13,659	13,754
陸上運送料	39,398	39,679
港湾荷役料	14,081	13,865
国際運送取扱料	40,157	37,542
不動産賃貸料	23,696	23,624
その他	18,491	21,647
営業収益合計	169,011	170,655
営業原価		
作業運送委託費	74,812	72,506
人件費	28,582	28,917
施設賃借費	7,202	6,932
減価償却費	9,320	10,108
その他	30,888	34,431
営業原価合計	150,807	152,896
営業総利益	18,203	17,758
販売費及び一般管理費	7,998	7,839
営業利益	10,205	9,918
営業外収益		
受取利息	39	67
受取配当金	3,204	3,336
持分法による投資利益	1,196	1,100
その他	385	359
営業外収益合計	4,826	4,863
営業外費用		
支払利息	378	432
社債発行費	—	136
為替差損	606	67
その他	84	41
営業外費用合計	1,069	677
経常利益	13,961	14,104

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
特別利益		
固定資産処分益	60	66
投資有価証券売却益	10	1,665
投資損失引当金戻入額	12	—
受取補償金	261	—
特別利益合計	343	1,731
特別損失		
固定資産処分損	380	1,320
減損損失	69	—
投資有価証券評価損	372	36
投資損失引当金繰入額	—	13
災害による損失	602	—
損害補償費用	126	—
特別損失合計	1,550	1,370
税金等調整前四半期純利益	12,754	14,465
法人税等	3,806	4,077
四半期純利益	8,948	10,387
非支配株主に帰属する四半期純利益	184	144
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,763	10,242

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	8,948	10,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,980	455
為替換算調整勘定	△424	△339
退職給付に係る調整額	△37	△119
持分法適用会社に対する持分相当額	27	△68
その他の包括利益合計	△8,414	△71
四半期包括利益	533	10,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	416	10,140
非支配株主に係る四半期包括利益	117	175

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,754	14,465
減価償却費	9,628	10,441
減損損失	69	—
引当金の増減額(△は減少)	△14	6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△474	△396
受取利息及び受取配当金	△3,243	△3,403
支払利息	378	432
投資有価証券売却損益(△は益)	△10	△1,665
投資有価証券評価損益(△は益)	372	36
売上債権の増減額(△は増加)	△3,186	1,860
販売用不動産の増減額(△は増加)	△939	△2,561
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,853	△7,331
預り金の増減額(△は減少)	1,508	△663
その他	△183	△2,143
小計	13,805	9,076
利息及び配当金の受取額	4,542	4,029
利息の支払額	△424	△443
法人税等の支払額	△4,224	△4,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,698	7,706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△15,182	△15,874
固定資産の売却による収入	229	105
投資有価証券の取得による支出	△13,022	△781
投資有価証券の売却による収入	23	2,991
その他	498	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,453	△13,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の純増減額(△は減少)	21,649	△5,439
社債の発行による収入	—	19,863
社債の償還による支出	△7,000	△5,000
自己株式の取得による支出	△2	△5,015
配当金の支払額	△2,542	△5,206
その他	△159	△996
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,945	△1,794
現金及び現金同等物に係る換算差額	△155	42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,964	△7,601
現金及び現金同等物の期首残高	39,580	42,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,615	35,370

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年4月26日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において普通株式1,682,600株、4,999百万円の自己株式を取得しております。

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間
(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	倉庫・港湾運送 等の物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	143,186	25,824	169,011	—	169,011
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	553	889	1,443	△1,443	—
計	143,740	26,713	170,454	△1,443	169,011
セグメント利益	5,969	8,514	14,483	△4,278	10,205

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,278百万円には、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,300百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	倉庫・港湾運送 等の物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	142,638	28,016	170,655	—	170,655
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	603	799	1,403	△1,403	—
計	143,242	28,816	172,058	△1,403	170,655
セグメント利益	6,051	8,077	14,128	△4,209	9,918

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,209百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,229百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。